



けんせつ

じょうしょう

上小

2019
第29号

CONSTRUCTION JOSHO

長野県建設業協会上小支部広報誌
2020年(令和2年)3月1日発行

創造・喜び・実感産業

建設の力で乗り越える。がんばろう!NAGANO



目次

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 支部長あいさつ…………… 2
長野県建設業協会上小支部 支部長 柳沢昌美 ■ 企画特集
「台風19号が甚大な爪痕残す」…………… 3～5 ■ 支部活動報告①育成事業…………… 6～7
丸子修学館高校で「丁張実習」を実施
丸子修学館高生が上野バイパスを見学
上田千曲高校3年生が工事現場研修
上田千曲高校1年生が現場見学会 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 支部活動報告②…………… 8～9
「安全・安心イベント2019」 ■ 女性部会…………… 10～11
「上小けんせつ・千桜(さくら)誕生!!」 ■ 上小支部の仲間たち…………… 12～13 ■ 支部活動報告③…………… 14
年末安全パトロールを実施
編集後記 |
|--|---|

支部長挨拶



「けんせつ上小」第29号 発刊にあたって

長野県建設業協会上小支部
支部長 柳沢 昌美

平素は、長野県建設業協会上小支部に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずは台風19号により被災されました方々や、亡くなられた方々、水害を被った農家の皆様、関係するそれぞれの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。その後の応急復旧活動やボランティア活動、恒久的な災害復旧工事により、一刻も早く立ち直られますことをご祈念申し上げます。

長野県、特に東信地方は災害も無く良いところだなと思っておりましたが、今回の災害は甚大過ぎました。まさに自然の猛威と申しましょうか、荒れ狂った自然の力になすすべもありません。夜が明けて周りを見たときに、郷土のその変わり様に目を疑ったのは私だけでは無いと思います。

その日から我々建設業各社は行政機関と共に、道路や宅地の土砂片付け、倒木の撤去、仮堤防の復旧、交通網の確保、等々に奔走いたしました。昼夜を問わず作業した結果、短期間で完了した箇所が有る一方、まだまだご不便やご心配をお掛けしている箇所もございます。これから本格的に復旧工事が始まりますが、我々建設業関連団体の総力を挙げて取り組む所存であります。

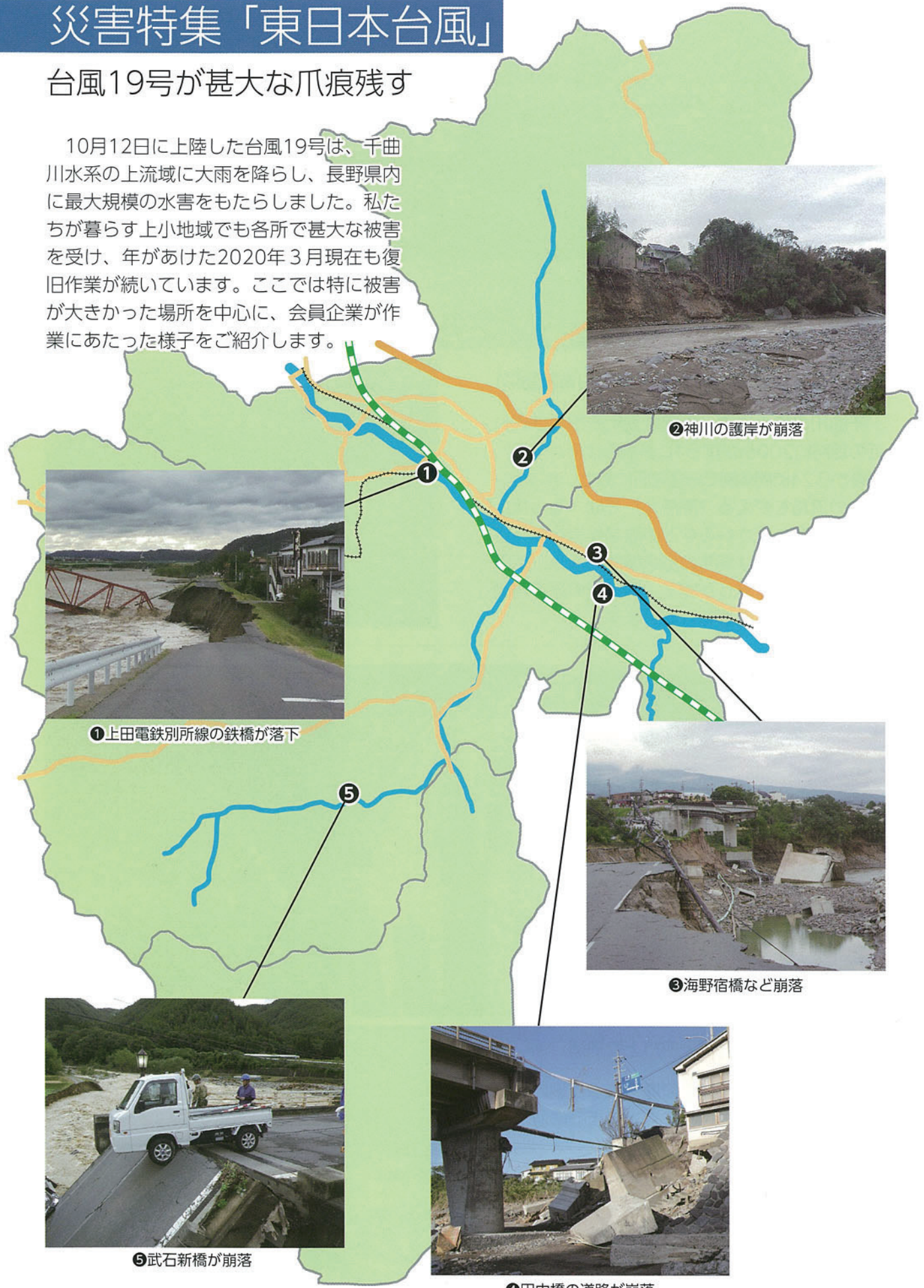
地方の建設業の各社が「健全な経営」ができる「工事量」を確保するということは、「地域社会インフラの番人」を育てていくうえで、また企業の存続及び後継者問題の解決には必要不可欠なことになりますので、関係する皆様には「工事量の増加」「発注の平準化」を切にお願い申し上げます。

結びになりますが、我々上小支部会員と組合員27社が力を合わせて共通の目標である、地域社会を守る基幹産業として、社会に貢献する企業になれるよう、関係各位のご指導ご協力をお願いするとともに、皆様方のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

災害特集「東日本台風」

台風19号が甚大な爪痕残す

10月12日に上陸した台風19号は、千曲川水系の上流域に大雨を降らし、長野県内に最大規模の水害をもたらしました。私たちが暮らす上小地域でも各所で甚大な被害を受け、年があけた2020年3月現在も復旧作業が続いています。ここでは特に被害が大きかった場所を中心に、会員企業が作業にあたった様子をご紹介します。



建設の力で立ち直る地域



①上田電鉄別所線の鉄橋が落下(上田市諏訪形)

千曲川の増水により上田電鉄別所線の鉄橋付近の堤防約200mが削られ、鉄橋の橋桁が落下。直後から24時間体制で応急復旧にあたりました。

河の流路を変える「瀬替え」では、運んだ土が途中何度も流されるなど困難な作業となりましたが、現在では堤防の応急復旧も進み、落下した橋桁も取り外しが完了。別所線の運行再開に向け、作業が進められています。



土を運び川の流れを変える



急斜面での作業となった

モルタルの吹付作業

②神川の護岸が崩落(上田市上野周辺)

千曲川に流れ込む神川の増水により護岸が崩落し、川に面した民家のすぐ近くまで法面が削られました。

応急復旧では、まず人力と重機で斜面に残った竹や流木などを除去。その後法面の整形、モルタルの吹付作業を進めると同時に、河川の水路工事も行われました。



法面と水路の応急復旧が完了



③海野宿橋など崩落（東御市本海野）

千曲川の増水で護岸がえぐられ、海野宿橋の橋台が欠損。バイパス道路200mが崩落し、付近を走るしなの鉄道も約1カ月にわたって区間運休を余儀なくされました。

現場では被災直後から復旧作業を開始し、7社2班による24時間体制で作業が進められました。現場はこれまで県が管理していましたが、被災規模が大きく、現在は国土交通省が復旧作業を進めています。



現在も大規模な修復作業が続く



急ピッチで作業が進められている

④田中橋の道路が崩落（東御市田中）

千曲川の増水により橋台の背面部分が削られ、右岸側の道路が約20mにわたって崩落し、全面通行止めとなりました。

復旧作業の内容は、既存の橋台の川側にコンクリートブロックで護岸を盛り立て、その完成後に橋台背面の陥没部分を埋め戻すというもの。早期の規制解除を目指して、現在も連日夜遅くまで急ピッチで作業が続けられています。

⑤武石新橋が崩落（上田市武石）

千曲川の支川、武石川の増水により橋の右岸側取付部分が崩落。道路は通行止めとなり、約270世帯が一時孤立しました。

台風が去った翌13日の朝から連日15人体制で復旧作業にあたり、20日午後には通行止めが解除されました。



15人体制で復旧にあたった

丸子修学館高校で「丁張実習」を実施

代人部会が作業指導



座学では計算方法を勉強



集中して実技に取り組む生徒たち

6月7日、丸子修学館高校で、代人部会のメンバー15人が丁張実習の指導にあたりました。この活動は今回で19回目となります。同校で工業科目を選択している3年生24人が、午前中の座学で丁張の設置に必要な法（のり）面の傾きや法肩、法尻の位置を計算する方法を学んでから、午後の実技に挑みました。

同校工業科の戸兵勝先生は「道具の使い方など実際に使用してわかることがある。3年生は今は進路を決めるタイミング。まだ迷っている生徒も多く、一人でも多く建設業に入ってもらいたい」と話していました。

昨年は同学科の卒業生26人のうち5人が建設業を選択したとのことでした。

丸子修学館高生が上野バイパスを見学

OBがICT施工などを説明



ガイド担当者と記念撮影

9月10日、丸子修学館高校工業科の生徒19人が、建設中の上野バイパスの現場を見学しま

した。上田建設事務所との共催で、通常の授業では経験できない体験を通して建設業の仕事に興味を持ってもらい、今後の進路選択に役立ててもらおうと毎年行っているものです。

生徒たちは施工業者やICT建機メーカー、測量会社など各担当者から工事概要や施工手順などについて説明を聞いたあと、実際の作業を見学しました。

現場では、同校を4年前に卒業した櫻井秀俊さんがICT建機の操作について説明。「ICTを使った法面の整形作業は、あらかじめ設定しておいた角度で止まるため、作業が容易です」と話し、生徒は熱心に耳を傾けていました。

同校の戸兵先生は「年の近い先輩が身近な現場で働いていて、生徒たちも大変興味を持って見ていたようです」と話していました。

上田千曲高校 3 年生が「工事現場研修」 大規模建築の仕事を学ぶ



県立武道館の建設現場

5月24日、上田千曲高校建築科の3年生を対象にした工事現場研修を、上田建設事務所との共催で実施しました。生徒39人が建設中の県立東御清翔高校の小体育館と県立武道館の現場を訪れ、担当者から工事内容の説明を受けました。

東御清翔高校の工事現場では、県施設課の竹森恒平さんがガイドを担当。施設が建設される過程を「紙の設計図の状態から実際の建物をつくるには各分野のプロの力が欠かせません。協力しながら計画を進めています」と説明していました。

上田千曲高校 1 年生が現場見学会 信濃美術館などを見学



模型を使った説明に生徒から質問も

10月28日、上田千曲高校建築科の1年生40人が、長野市箱清水に建設中の信濃美術館本館建築工事の現場を見学しました。これは厚生労働省が展開する若年者と建設業界がつながる機会をつくる「つなぐ化事業」に同校が応募し採用されたもので、今回初めて1年生を対象に行われました。

工事を担当する清水－新津JVの現場代理人、杉山和弥さんが工事概要を説明。杉山さんは、自身が担う工事監理業務について「すごく大変な仕事ですが、完成した時の充実感は何物にも代えがたい。仕事に充実感を求めたい人に



ハウジングパークでは一軒家を見学

は特にお勧め」と話し、生徒たちは真剣に聞き入っていました。

生徒の一人、安藤愛純さんは「鉄筋を組み立てているところがとても印象深かった。模型にも興味があって、完成が楽しみ」と感想を語っていました。

生徒たちはその後、上田ハウジングパークを見学。引率の伊藤卓也先生は「これから家の設計も勉強していきますが、なかにはアパート暮らしで一軒家の感覚がわからない生徒もいる。少しでも参考になれば」と話していました。

安全・安心イベント2019



高所作業車や除雪車に触れてもらいPR

9月7日、上田道と川の駅おとぎの里で「安全・安心イベント2019」が開かれました。来場者に高所作業車や重機の乗車体験をしてもらい、建設業への理解と災害についての知識を深めてもらいました。

高所作業車の乗車体験コーナーでは、子どもたちに高さ当てクイズを実施。補助員からヒントとして周囲の照明設備の高さを教えてもらったり、下を見下ろしたりして思い思いに高さを推測していました。そのほかコンクリートミキサー車やロータリー除雪車も出動。パネル展示では、建設業が担う除雪作業の重要性などを伝えました。



コンクリートミキサー車の
操作体験では大きな操
作レバーを動かして笑顔。
景品は水風船でした。



模型を使って土石流を再現。土石流の恐ろしさと、それを防ぐ「砂防えん堤」の役割を伝えました。



「ここは高さ何mでしょう」
高所作業車の上では子どもたちにクイズを出題。
難しかったかな？

memo
砂防えん堤…別名「砂防ダム」。「砂」を「防ぐ」
「ダム」で、そのほとんどが山の奥に設置されて
います。土砂災害などから私たちの暮らし
を守る、ダム型の施設です。

主催 「おとぎの里安全・安心部会」
共催 ・建設業協会上小支部 ・上田市防災支援協会
・上田建設事務所 ・新建新聞社

さくら 「上小けんせつ・千桜」誕生!!

私たち女性部会の名称を「上小けんせつ・千桜(さくら)」に決定しました。
徳川軍を二度にわたり撃退した難攻不落の城、上田城の千本桜を由来に命名しました。
仕事の内容は違えど、同じ建設業界で働く女性たち。
定期的集まって活動を共にすることで、情報交換や親睦を深める良い機会となっています。

現場で活躍する作業車が大集合!! 安全・安心イベント2019

建設業界からは、毎年子どもたちに大人気の高所作業車のほか、新たにコンクリートミキサー車、除雪車などが出動しました。女性部会では、乗車体験やスタンプラリーなど各コーナーで受付のお手伝いをしました。今年もたくさんの方が参加してください、大変喜ばれました。

猛暑日の中 一致団結



千桜会 上田市を一望!



たくさん子どもたちが参加してくれました

女性目線で事故を未然に防ぐ 年末安全パトロール

女性の視点から現場の安全をチェックすることで、危険箇所を事前に見つけ作業員や近隣住民の方々の安全を守るために、パトロールを行いました。
無事故・無災害で工事を無事完了してもらうために私たちも担当の方に説明を受けながら、男性会員と一緒に安全が確保されているか念入りに見て回りました。

工事看板を見て内容を把握



工事の詳細についてヒアリング調査



担当者から説明を受ける



目を奪われる魅力的な「ハーバリウム体験」

制作体験がしたいという声に応え企画しました。ハーバリウムは、プリザーブドフラワーやドライフラワーをガラスの小瓶に入れ、専用オイルに浸して作ります。オイルによってもたらされる独特の透明感や浮遊感も魅力のひとつで、ガラスボトルに光を当てれば、幻想的なお花の姿を楽しむことができます。



話し上手な先生と会話が弾みます

細かな作業が続き、最後のオイル注入時は、どきどきでした

とても楽しい体験ができました。作品は自宅の玄関に飾ってあります



世界に一つだけのオリジナル「ポーセラーツ体験」

真っ白な陶器に、専用の転写紙を貼ってつくるポーセラーツ。世界に一つだけのオリジナルのテーブルウェアを簡単に作ることができます。出来上がったお皿はそれぞれの個性がよく出ています。



優しい先生が丁寧に教えてくれます

細かい作業で難しかったけれど、自分で作った!という達成感がありました

作り始めたら止まらない!これにはまりますね



千桜会のお弁当日記

今回のお弁当は上田市の柳町にある「コラボ食堂」さん。毎日シェフが変わるコミュニティレストラン。10種類以上のおかずが詰まったお弁当♡

心と体に栄養と元気をもらいました。みんなでワイワイ食べるとさらに美味しく感じます!!



コラボ食堂
上田市中央4-7-27
TEL 0268(22)5968

広報委員会



会長: 平野 明美【平野建設株】
 会員: 伊東 由香【東部開発株】 粕尾 優希【株春原】
 金井 彩香【株創恒】 綿貫 夕起【株宮下組】
 塚本 優【株羽田組】

昨年の経験を活かし、紙面づくりがトントンと進みました。写真を見ていただければわかりますが、女性部会員さんの笑顔、パトロールをする真剣な表情、子どもたちに向けるやさしさあふれる眼差し。心の中が表れていますよね。 会長 平野 明美

長野県建設業協会

博 建設業 青木建設工業株式会社

クレームゼロの仕事を中心掛けています。

代表取締役社長 青木 英友



上田市上丸子1706
TEL.0268-42-3127
FAX.0268-42-3708




地球修理工の感動産業
SUNOHARA 春原建設株式会社

建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い
地域と行政の橋渡しをする……
(事業内容)
土木・建築・塗装・上下水道・造園・解体(各種設計施工)
介護職員育成事業 (マスターカレッジ住吉校)
太陽光発電事業・水環境事業 etc ……

“困ったら”…まずは電話
TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094

特定建設業

要 有限会社 岩下組

代表取締役 岩下 通孝

小県郡青木村大字村松1721
TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774




毒 千曲建設工業株式会社

上田市諏訪形973-1
TEL. 0268-22-3835
E-mail : info@chikumakk.co.jp
http://www.chikumakk.co.jp

CHIKUMA チクマホーム




法令を遵守し施工致します

勝 株式会社 金井組

代表取締役 金井 洋

小県郡長和町大門119
TEL.0268-68-2137(代) FAX.0268-68-2677




TOBUKAIHATSU 確かな技術・誠意ある施工
地域からさらに信頼される会社を目指して!!

東部開発株式会社

代表取締役社長 柳 沢 昌 美

〒389-0506 長野県東御市祢津1304
TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848
E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp




自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。
後世に残る品質と信頼を目指して…

KITAZAWA 北澤土建株式会社

本社 長野県上田市武石沖471-1
TEL.0268-85-2039(代) FAX.0268-85-3394
URL: http://www.kitazawadoken.co.jp
E-mail: master@kitazawadoken.co.jp
東御支店 TEL.0268-62-1674




HATA 株式会社 羽田組

代表取締役社長 佐藤 公明

小県郡長和町和田1540-1
TEL.0268-88-2012
FAX.0268-88-2774





“HYGGE”な居心地のいい時間や空間づくり

窪田建設株式会社

President Director
窪田 秀 徳
URL: www.ie-kubota.jp
mail: kubota@n-n-n.com

☎386-1213 長野県上田市古安曾1116
TEL.0268-38-3050(代) FAX.0268-38-8099(NORWAY HOUSE GALLERY)




平野建設株式会社

代表取締役 平野 仁一

上田市御所606-1
TEL.0268-27-3345 FAX.0268-25-3598



株式会社 倉島組

代表取締役 倉島 卓 司

上田市上丸子1385
TEL 0268-75-7078 FAX.0268-75-7079



喜 有限会社 深井組

代表取締役 深井 伸一

上田市東内411-4
TEL.0268-42-2053 FAX.0268-42-7117



「常に誠実であれ！」をモットーに
「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。

音 株式会社 栗木組

代表取締役社長 栗木 悦 郎

上田市長瀬3918
TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433




大正3年創業
誠意と信用と技術で地域社会に貢献する

嘉 株式会社 宮 嘉 組

代表取締役社長 宮 島 聖 二

上田市蒼久保1416-1
TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086



上小支部の仲間たち

令和元年12月現在

未来を建てる。それが私たちの使命です。



株式会社 宮下組



代表取締役社長 石塚博敏

〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号
TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123



総合建設業



株式会社 田中工務店

代表取締役 田中和好

上田市中之条445-9
TEL. 0268-22-7166
FAX. 0268-27-0168

明治15年創業



柳屋建設株式会社



代表取締役 小河原嘉彦

上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220



建設業

池田株式会社 TEL.0268-72-2251
FAX.0268-72-2245

上田市真田町長7166-2
代表取締役 池田豊文

元祖やきとり 備長炭焼

千串屋

TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358



株式会社 創恒

代表取締役 金井利亀

上田市古安曾1593-1
TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889

夢を形に 楽しい 住まい造りグループ

建築・土木請負



株式会社 永井建設

代表取締役 永井大輔

上田市五加254番地
TEL.0268-38-2336(代) FAX.0268-38-8194

株式会社 小山産業

代表取締役 小山俊夫

小県郡長和町和田1485番地1
TEL 0268-88-2045
FAX 0268-88-2035



豊かな郷土づくりに貢献する



木島建設株式会社

土木・建築・造園・設計施工

〒386-2201 上田市真田町長6116-1
TEL.0268-72-2267 FAX.0268-72-4160



MOTO-Q Group

三共テック株式会社

代表取締役社長 須江啓一

〒386-0002 上田市住吉370-1
TEL.0268-23-1842 FAX.0268-27-0909




株式会社 堀内建設

周辺環境に配慮した土木工事を提供します
技術力と信頼で地域へ貢献します

代表取締役 金森潤哉

TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469



TAKEKO TOTAL CONSTRUCTION



竹花工業株式会社 田中支店

取締役副社長田中支店長 山浦友二

東御市県518
TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119




MATSUI 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!!



株式会社 松井建設

代表取締役 松井智哉

長野県上田市武石小沢根215-1
TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409




“地域に根差し、地域と共に歩む。お客様の笑顔と信頼を得る”
ことを大切にしています。



株式会社 小幡

代表取締役 小幡晃大

上田市材木町1丁目9-15
http://www.obt.co.jp
TEL.0268-28-1877 FAX.0268-22-8590


年末安全パトロールを実施 復旧作業も事故ゼロで



掲示板に不備がないか確認

終了後は各班の報告に耳を傾けた

12月5日、建災防上小分会と共催で年末工事現場安全パトロールを行いました。土木4班、建築2班にわかれて管内の現場を巡り、担当者の説明を受けながら安全管理や施工管理の状況を確認しました。

参加した支部会員や女性部会のメンバーは、掲示板に不備がないか、事務所や電気設備にきちんと鍵を掛けてあるか、事故につながりそうな箇所はないかなどを念入りに見て回り、改善点を担当者に伝えました。

パトロール終了後の報告会には約90人が参加。各班の代表者が写真を示して改善を促した点や良かった点を報告し合い、全員で情報を共有しました。

上田建設事務所の蓬田陽所長は、台風災害の応急復旧作業にあたった各社に謝意を伝えつつ「住民の期待に応えるためにもこれからも安全第一で復旧をお願いしたい」と呼びかけていました。



はじめに、このたびの台風19号で被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

昨年の台風19号では、ここ上小地区も甚大な被害を受けました。その頃、たまたまテレビを見ていたら「皇室日記」という番組で、天皇陛下ご夫妻が、被災地を回り被災者にお見舞いの言葉を述べられている映像が映りました。それを見ながら、変なことを考えてしまいました。…うす暗い電灯の下で、天皇皇后両陛下が顔を合わせて「今月の資金繰りは？」とか「今月の返済は？」

なんて相談をすることは、絶対ないだろう。

ところで、多くの中小の建設業者は、ここ何年も何年も、毎月毎月、月末になるとお金の心配で苦勞している。これも一種の“災害”ではないか！でも、この“災害”のお見舞いに皇室の方々が来られることは無い。

今回の災害でいまだ不便を強いられている方も多いと思いますが、このような状況下だからこそ地域が団結する時。建設業界も災害に強い地域づくりに貢献する機会だと受け止め、日々の復興に取り組んでいます。何事も、ものごとは前向きに考え、対処していきたいものです。

